

いずみニュースレター

令和6年10月発行 第29号

理事長就任に当たって

理事長 鈴木 久弥

皆様には御健勝にて御活躍のこととお喜び申し上げます。

今年の6月21日に新しく理事長に選任されました。福岡元理事長、川畑前理事長が築かれた法人いずみを引き継ぐには、身に余る重責ではありますが、精一杯の努力をしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

歴代の理事長が実践された御利用者主体の考えを継承しつつ、時代に合わせた法人いずみの経営や運営に携わっていきたいと思います。

平成17年の創立以来、障害者福祉とりわけ重症心身障害児者の生活向上を目指してまいりました。現在では、多くの事業を展開し、一人一人の障害者の生涯に亘る継続的、持続的な福祉サービスが提供できるようになっております。

今後も、東村山市をはじめ関係機関と密接に連携し、地域福祉の一拠点としての機能を充実させ、その上で、地域の様々な生活、福祉課題に積極的に対応し、法人の取組を広く公開する中で、地域とのかかわりを大事にしていきます。

社会福祉法人いずみでは、三つの誓いを理念として掲げておりますが、全職員がそのことを胸に刻みながら、利用者支援や福祉サービスの充実発展に取り組んでまいります。

利用者・家族の皆様のご理解とご支援、関係機関のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

今後とも、法人いずみをどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人いずみ 理念（三つの誓い）

- 一つ 利用者支援 力の限りの約束
利用者、その家族を力の限り支援し、家族目線で益々の安定と安心に沿うよう誓います
- 二つ 法人役職員 一致団結支援の約束
役職員上下の区別なく、心をつ一つにして、利用者、家族の生活の益々の安寧の為、多くの意見を取り入れながら運営することを誓います
- 三つ 更なる高みに向けた挑戦の約束
障害者福祉、地域福祉に注力し、行政、関係機関、地域関係者と連携、協調、協働を通して、積極的に貢献することを誓います

グループホーム ファウンテン

この一年を振り返って

10月1日に開所し早や1年が経ちました。重度の心身障害者が多く利用される数少ないグループホームとして、様々な事を試行錯誤しながらの1年だったと感じています。

今回は多くの皆様からもこの1年の振り返りのご意見等を頂きたく、利用者様、保護者様及び職員からご意見等を記入した用紙にご記入ご提出頂きました。その中から一部を抜粋させていただきました。皆様から頂いた貴重なご意見を今後取り入れていきたいと思えます。

ファウンテン 梶沼 知徳

○印象に残る思い出、イベント等

- ・入所当初、他の利用者さんが「初めてできた友達」と自分に言ってくれたことがとてもうれしく印象に残っている。(利用者様)
- ・節分行事、鬼に向かって皆で豆を投げたのが楽しかった。(保護者様)
- ・開所式、皆さんと一同に集まったこと「さあここからのスタート」という気持ちが高まりました。(保護者様)
- ・コロナなど閉所がありましたがlineの利用で情報がすぐに得られこちらからも発信できたことでスムーズに乗り越えられたと思います。(保護者様)
- ・利用者様から「あなたがいるところは太陽みたい」「お話しできるとポカポカする」と言ってくれたのは一生の宝物です。(職員)
- ・クリスマス会や豆まきなど利用者様の笑顔が見られてよかった(職員)
- ・朝、利用者様が出かける時に「行ってらっしゃい！」戻られて「おかえりなさい！」ここはお家なんだと大きな家族の中に居るみたいでうれしかったです。(職員)



○ファウンテンを利用して思ったこと、感じたこと

- ・いろいろな事を気軽に相談でき、職員の方からの小さなことでもこまめに教えて頂けたことが何より安心、信頼につながりました。(保護者様)
- ・最初は「ホームになじめるか心配」でしたが思いのほか早く慣れてくれてホッとしています。(保護者様)
- ・ひとりの職員の方にお伝えしたことが他の職員の皆さんに伝わってないと感じることがあります。色々な意見や考え方があると思いますが、声に出して話をしながらよくなっていけたら嬉しいですね、もう一年、まだ一年、動き始めたばかりです。これからもよろしくお願いします。(保護者様)
- ・利用者同士のコミュニケーションが難しい部分もあるけれども、キーワード一つで会話のきっかけになることがわかって嬉しかった。様々な趣味嗜好をしっかり持っており、その一部が重なると楽しくおしゃべりができる。自分とは違ったものの見方も勉強になる所がある(利用者様)

○ファウンテンで働いてみて思ったこと、感じたこと

- ・コミュニケーションの難しさですかね。職員同士一生懸命やっているからこそ伝え方を少し変えただけで違っていたことが沢山あるから丁寧にしていこうと学びました。まだまだ難しいことが多いですけど。(職員)
- ・毎日同じことの繰り返しなのだが、毎日違った出来事が起こったりするので気が抜けない仕事と思います。でも時間までに皆さんを送り出せるとホッと頑張ったー！と思っています。(職員)
- ・同じ支援でも、日中活動の事業所とは違い生活の支援なのだなと違いを感じています。(職員)

○今後に向けてのご提案など

- ・難しいとは思いますが、もう少し職員の人数が増えたらいいですね(保護者様)
- ・人手の確保に手を尽くされていると思いますが、福祉系の大学、サークル等の利用はどうでしょうか(保護者様)
- ・今後ともよりよいグループホームになりますように、ソフト面でもハード面でも一層の充実を望みます。私たちも協力していきます。(保護者様)
- ・職員が日々こなすだけのグループホームではなく、楽しいを作れるグループホームになってほしいと思います。(職員)
- ・男性職員の人材確保(職員)
- ・より円滑に皆で話し合い、知恵を出し合って昨日より今日、今日よりも良い明日にしていきたいです。(職員)
- ・まだまだ一人一人の生活面他が職員の共通理解に至っていないように思う。ケース会議での共通理解を深めてよりスムーズな支援につなげたいと思います。(職員)

各事業所より

今回のテーマは、“一押しイベント”です。各事業所では、工夫を凝らし、利用者さんと共に楽しめる行事やイベントを行っています。ほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。



ボランティア中村さんが来て頂いたことについて

ファウンテン 梶沼 知徳

10月に新規開所しもうすぐ1年になります。グループホーム（共同生活援助）とは「利用者が**地域において**共同して自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るように支援する」ことが事業の目的とされています。

ファウンテンで季節行事や毎月の誕生日会などの開催をしていますが、この紙面を借りて是非ともお知らせしたい内容があり、イベントとは異なることかもしれませんがご報告したいと思います。

ファウンテンでは地域に開かれた事業所を目指して、開設当初から東村山ボランティアセンターへお掃除や家事のお手伝いへのボランティア募集の案内を出してきました。今までボランティアとして2、3名の方が来ていただきました。その中で今も継続してきていただけている中村さんがいます。

毎週2回、朝9時30分過ぎから12時前まで、洗濯物干し、ゴミ集め、各居室も含めた床掃除と、とても熱心に作業をしていただいています。

利用者様が日中通所先にお出かけの後、職員の勤務が終わった後の誰もいない場所が中村さんの活躍する時間です。

しっかりメモを取り14名の各利用者様のお名前や部屋番号、留意点などチェックをしながら行っている姿には頭が下がります。

中村さんをはじめ沢山の人の縁の下の力持ち的な関わりがあってファウンテンが支えられていると思います。

「地域において」とは、そのようなつながりを双方向でたくさん持つことなのかと感じています。





あゆみの家成人部 増田 賢悟

今年は猛暑の日が多く、利用者さんとも毎日「暑いね～」「夏が長いですね～」とお決まりの会話が続いております。そんな成人部ですが、今年は感染症禍で中止をしていた企画や新しい行事を開催しました。

まず、6月1日に行った東村山生活実習所様との「交流会」。以前は「合同祭り」として、施設の前にある南台公園で出店して大々的に行っていたイベントを、施設敷地内限定に縮小してお互いの利用者さんと職員の交流を深める目的で開催しました。当日は地域のお祭りも南台公園で行われたことや、保護者様のご協力もあり想像を超えた盛り上がりが見られました。

今号のニューズレター作成時点では開催前ですが、8月末にはあゆみの家建物内で、ひまわり・成人部で「あゆみの家合同祭り」を行います。複数のゲームコーナーやお手伝いして下さるボランティアさんのご協力も決まっております、みんな楽しみにしています。9月には成人部単独で秋祭りを開催しており、今年は祭り行事を全力で取り組んでいます。



ひまわり運動会

ひまわり（児童発達支援）西島 悠子

ひまわり運動会は毎年秋に開催します。前半は体操、お遊戯、個別発表のニコニコレース等があります。後半は親子一丸となって対抗戦！！2チームに分かれて、玉入れやパン食い競争等、子どもも大人も本気で競い合いながら楽しめます。結果発表の時は盛り上がり、チームになった仲間同士で覇気を上げていきます。

年少さん（満3歳以上）が行うニコニコレースは、日々の身体の取り組みの成果を発表する、1年の集大成です。うつ伏せ、立位、座位練習等、それぞれの課題を皆の前で発表する姿はとても素敵です。温かな歓声や応援が飛び交います。小さなお子さんは皆でボール送りをしました。

夏の水遊びが終わった初秋からは、活動内でも運動会準備が始まります。お遊戯の曲を毎日かけ、踊りの練習をして覚えていきます。制作の時間に看板や小道具作りもしていきます。今年度は11月4日（月・祝）予定です。楽しく思い出に残る一日になる様に、気合い入れて準備していきます！！

ニコニコレース



ボール送り



お遊戯



パン食い競争



玉入れ



集合写真



夏休みの活動

ひまわり（放課後デイサービス）安井 翼

<南極・北極科学館へお出かけ>

南極・北極科学館にみんなでお出かけ。オーロラシアターでのオーロラ鑑賞、ペンギンやシロクマのはく製を見たりと南極・北極についての勉強をしました。



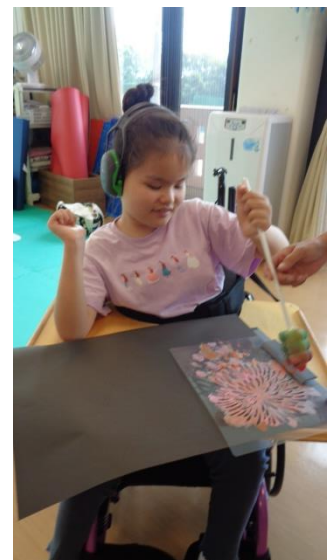
<ショッピング体験>

イオンモールむさし村山へお出かけ。アイスを買って食べたり、館内をまわりショッピング体験。フードコートにて昼食体験も行い楽しみました。



<水遊びや制作活動>

お出かけ活動以外にも水遊び、制作活動など様々な活動を行いました。水遊びでは手足で水の感触を楽しみました。中には友達と一緒に水鉄砲、水風船などで水をかけあい、びしょびしょになりながら大はしゃぎで楽しんでいる方もいました。制作活動もたくさん行い、花火壁画の制作や、夏祭りなど夏休みに行う行事の準備などを手伝ってくれていました。



私たちの、手作りイベント

ライフサポートつばさ 山下 毅

皆様こんにちは！私たちからは、最近行ったことを2つ、ご報告したいと思います。いずれも、とてもささやかな規模のものです。その中に、今のつばさの“らしさ”が現われているかな、と思います。

1つ目は、『つばリンピック』と題しまして、平時からやっているレクリエーションをメダル制にするなどの演出を施したものです。先だっのオリンピック・パラリンピック期間には、つばさの仲間たちも寝不足のお顔が目立ちました。その盛り上がりの中から、『俺たちも、私たちも』と声が上がったのはごく自然な流れだったように思います。利用者さん達が発起人になり、大会組織委員会(?)を結成し、種目のアンケートの結果は紛糾(?)し、結果ツメツメの日程になったのもつばさらしいではありませんか。当日のご参加が難しかったある仲間は、事前の会場装飾に心を込めて取り組んだりもしました。そして、このメインイベントの日には、趣旨にご賛同頂きました当法人鈴木新理事長と、川畑前理事長もゲスト参加して下さり、思い出に華を添えてくださいました。

2つ目は、『壁新聞』。皆様がつばさの玄関に入って頂きますと、壁いっぱい埋め尽くした掲示物がお目を引くと思います。これも有志の利用者による取り組みで、仲間の利用者さんお一人お一人の笑顔や活躍場面の写真を中心に、よく見ると楽しかった活動の報告やインタビュー、自動販売機の品目アンケート、創作活動による装飾部分や、文字の部分は手描きありタイプありなど、つまり、雑多も雑多！「それがとてもいいね」と、ご来客様や保護者様たちにも大いに喜んで頂いています。ニュースレターをご覧の皆さまにも、是非一度つばさへお運びいただき、この壁新聞に圧倒されて頂きたいものであります。現在私たちは、感染症に再度警戒を強めながらも、皆様との交流再開を基調とし、富士見小学校様との交流やつばさ祭りなども催したところであります。引き続き、皆様とお目にかかれる機会を心待ちにしております。



人の心に陽溜りを

ホームヘルプひだまり 星 美佐子

暑い日もあと少し、秋になったらあそこにも行きたい、ここにも行きたい！期待がふくらみます。それでもひだまり外出支援では熱中症対策をしながら、この夏も色々なところに出かけて来ました。利用者同士待ち合わせて、カクテルと生パスタを楽しんだり、社協の移送サービスを頼んで電車では行けないところに行ってみたり、利用者さんからお薦めされてラビューに乗って秩父にも行きました！これが本当に快適で、広々とした車いすスペースに開放的な大きな窓、そこからながめる緑濃い山々や夏の青い空に、遠足気分は盛り上がります。フードコートでおいしい秩父名物のランチを食べ、アイスクリームも食べ、「また絶対来ようね！」「〇〇さんも誘おうか」と話はつきません。「お出かけ」そのものももちろん楽しいのですが、他の利用者と一緒にだったり、駅やお店でバッタリ知り合いと会ったりした時の利用者さんの表情は、それはそれはイキイキとしていて、「友だち」や「仲間」の存在がいかにも生活に潤いを与えるかを実感させられます。また、そんな利用者さんの表情から私たちヘルパーは沢山元気をもらっています。今後もより沢山の笑顔のある「ひだまり時間」であるように、ヘルパー一同努力していきたいと思っています。



職員ひとこと

テーマ『利用者さんとの楽しかった思い出』

成人部の松元です。利用者さんとの思い出…。以前成人部のお祭りで、利用者さんが店員になって保護者様を「御もてなし」したことがありました。型にいれて作れるおにぎりや水餃子、チヂミなどをみんなで手作りをして、お配りした時の充実した笑顔をよく憶えています。



所属 あゆみの家成人部
名前 松元 明子 勤続年数 6年

遠足の思い出

遠足で昭和記念公園に行ったことです。昨年度は天候に恵まれず行けませんでしたでしたが、今年は晴れて遠足日和でした。パークトレインに乗ったり園内を散策したりして、屋外でのびのびと遊び、園児さん・ご家族・職員みんないい笑顔をしていたのが印象的でした。



所属 ひまわり（児童発達支援）
名前 縄田 若菜 勤続年数 2年





初めての事ばかりで無我夢中の毎日ですが、一番嬉しかった事に選んだのは小さい目標が達成できていっているという事です。

はじめ、子ども達と早く打ち解けたいと、色々試行錯誤していましたが、良くない行動にもしっかり対応しなくてはと、注意する時は「ゆっくり低い声で」という保育園でやっていた事を実践したところ、その子に嫌われてしまいました。大嫌いな対象になったようで、態度も変わってくれませんでした。そこから「その子と仲良くなる」が私の小さな目標になり、さりげなく話しかける、好きな遊びを探してみる等、色々チャレンジしました。何か月かすると、名前を呼んで「来て～」と呼んでくれるようになり、手を繋いで違う部屋に遊びに行けるようになっていきました。遊んだエピソードも、思い出し笑いする事が増えていきました。信頼関係も少しずつ構築出来ている気がして、とても嬉しい体験でした。教科書は無いと思うので、一人一人に合った信頼関係をこれからもっと作っていきたいです。



所属 ひまわり (放課後デイサービス)
 名前 大槻 晶 勤続年数 2年



私の利用者様と楽しかった思い出は、7月の七夕の行事に向けて、有志の保護者様から頂いた笹と短冊に素敵な願い事を利用者様と一緒に書いたことです。

GHファウンテンは10月で丁度1周年になります。私にとってこの1年は、初めての出来事と戸惑いの連続でしたが、沢山の経験を積ませて頂く1年となりました。それでも、利用者様一人一人の好きなものやこれまでのことを知るにはまだまだたったの1年です。だからこそ、短冊に願い事を書いている時に利用者様から聞いたエピソードや書いている姿がとても新鮮でとても楽しかったです。ファウンテンでこのような時間が増えるといいなと思います。



所属 ファウンテン
 名前 杉本 梨乃 勤続年数 1年



中央公園へ散歩に出掛けると春には桜やチューリップなどの花や暖かい風を感じることができます。

秋には、落ち葉をシャカシャカ踏み鳴らし楽しむことができ、とても気持ちが良いです。すてきな公園が、すぐ近くにあるつばさのみなさんと散歩できることが幸せです。



所属 ライフサポートつばさ
名前 井上 夏江 勤続年数7年

つばさに入職して1年半たちます。初めは利用者さんとの意思疎通が難しいことが多く、運動もなかなか思うようにはできませんでした。でも段々とお互いに慣れてきて、運動がスムーズにできたり、タイミング良く歩行等ができるようになってきて、毎回の運動がとても楽しいです。これからは利用者さんにも楽しんでいただけるように、もっと頑張りたいです！



所属 ライフサポートつばさ
名前 奥田 遠音 勤続年数1年

～ ご寄付をいただきました ～

- ☆大段剛様 法人に 20万円
- ☆匿名様 グループホームファウンテンに 20万円
- ☆アンカージャパン(株)様 グループホームファウンテンに
コードレス水拭き掃除機 1台

ありがとうございました。大切に使用させていただきます。

～編集後記～

10月1日でファウンテンは1周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援があったからこそと、深く感謝しております。これからも地域に愛されるよう、いずみ全事業所において職員一同、心を込めた支援をさせていただきたいと思っております。これからもどうぞよろしく願いいたします。

佐久間

発行元 社会福祉法人いずみ
東京都東村山市富士見町3-3-4
TEL 042-394-1868

※記事内の写真についてはご本人、ご家族のご了承を得たうえで掲載しております。